

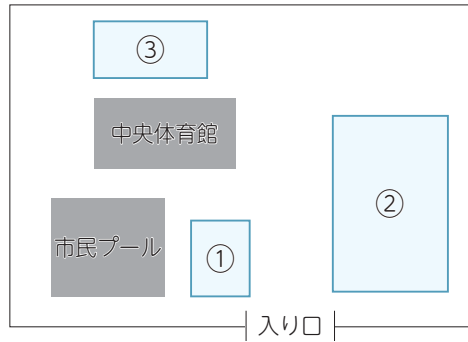
ここがポイント！

事業費は市の実質負担がゼロ！

- ①カタルフレンド基金
カタル国から、全額助成されます。
- ②子ども元気復活交付金
補助率は事業費の2分の1ですが、残りは国が特別交付税で負担するため、実質、市の負担はありません。



<市総合運動公園 施設配置図>



この交付金を活用し、市内の公園のうち、広域的に利用されている主要な公園の遊具入れ替えを行い、休日を中心に安心して親子で遊べる機会を確保します。
また、原発事故直後の段階

主要な公園の遊具を入れ替え

この交付金を活用し、市内の公園のうち、広域的に利用されている主要な公園の遊具入れ替えを行い、休日を中心に安心して親子で遊べる機会を確保します。

市では、事業計画を策定し、国から約3億6千万円（総事業費約7億2千万円）の交付可能額の通知を受けました。

復興庁が新設した子育て環境改善のための交付金

②交付可能額を公表「子ども元気復活交付金」

<事業の概要>

施設名	内容
白河関の森公園	遊具の入れ替え
市総合運動公園	
表郷鶴子山公園	
大信幼稚園、たいしん保育園	
白坂幼稚園	
小田川幼稚園	テニスコート整備
しらすかの森スポーツ公園	
東風の台運動公園	

「福島定住等緊急支援交付金（子ども元気復活交付金）」は、国が県内の市町村を対象に新たに創設した交付金です。原発事故の影響で体力の低下が心配される子どもたちの運動機会の確保と、子育て世帯が安心して定住できる環境を整えるため、公園等の遊具入れ替えや運動施設等の整備、公的賃貸住宅の整備などの補助を行います。

健康スポーツセンターは、1月に着工し、来年12月のオープンを目指して工事を進めていきます。

陸上競技場および国体記念体育館の改修工事は、10月に

Topic

対面販売で安全性を呼び掛ける

7月20日、ヨークベニマルメガステージ白河店（新高山）で、本市の青年農業後継者で組織する「しらかわ農業未来塾」の皆さんが、農産物の販売を行いました。
この取り組みは、市内で生産された農産物の安全性を「まずは地元から理解してもらおう」という目的で始められたもので、生産者自身が消費者と直接向き合い、安全性と魅力をアピールしながら農産物を販売します。今後も継続して行われる予定です。



▲消費者に安全性と魅力を伝える未来塾会員

将来につながる施設をつくる

市では、復興支援の助成金や交付金を活用して、健康づくりを目的とした施設の整備や、子どもたちが安心して遊べる環境づくりを進めています。
今月号では、「カタルフレンド基金」と「子ども元気復活交付金」を活用して行う事業の概要をお知らせします。



▲契約書にサインをするユセフ・M・ピラール駐日カタル国大使（右）と鈴木市長

正式契約で大型助成が決定
「カタルフレンド基金」は、カタル国が被災3県の復興支援を目的に創設した基金で、子どもたちの教育・健康・水産業の3分野の事業に対し、活動資金を助成しています。
本市では健康分野で採択を受け、6月26日に同国大使館（東京都港区）で行われた調印式で、正式に契約を締結しました。これにより、最大で6億6千万円の助成を受けることが可能になりました。

①カタル国と契約を締結「カタルフレンド基金」

しらかわ夢かたまる総合運動公園整備事業が始動

この助成を活用し、市民の皆さんや、原発事故の影響で本市に避難されている方の、心と体の健康づくりを目的に施設整備を行う「しらかわ夢かたまる総合運動公園整備事業」がスタートしました。
屋内で安心してスポーツや交流を楽しむことができるよう、市総合運動公園（北中川原）内に健康スポーツセンターを新設するほか、陸上競技場や国体記念体育館の改修工事を進めています。

スポーツセンターは来年12月のオープンを目指す

健康スポーツセンターは、1月に着工し、来年12月のオープンを目指して工事を進めていきます。

<事業の概要>

施設名	区分	工事期間	内容
①健康スポーツセンター	新設	平成26年1月～12月	子ども屋内遊具室、エクササイズルーム、交流室、会議室、屋内フットサルコートなど
②陸上競技場	改修	平成25年10月～平成26年3月	ウレタン舗装修繕、外周フェンス新設、出入口ゲート新設、外周街灯新設、南側トイレ改修など
③国体記念体育館		平成25年10月～平成26年3月	屋根防水工事、外壁塗装など

着工し、来年4月から利用できる予定です。
☎ 本庁舎生涯学習スポーツ課
1111 内2386